

第33回地方公務員共済資金運用委員会議事要旨

1. 日 時：令和4年3月29日（火） 10:00～11:00
2. 場 所：地方公務員共済組合連合会 特別会議室
3. 出席委員：
 - ・若杉座長 ・川北委員 ・喜多委員 ・佐藤委員 ・芹田委員（※）
 - ・高山委員 ・竹原委員（※） ・徳島委員 ・長澤委員（※） ・森本委員（※はオンライン会議システムを利用した出席）
4. 議 事
 - （1）令和3年度第3四半期の各積立金の運用状況（地共済）
 - （2）令和3年度第3四半期の各積立金のリスク管理の状況（地共済）
 - （3）厚生年金保険給付積立金の基本ポートフォリオの検証について
 - （4）経過的長期給付積立金の基本ポートフォリオの検証について

〈議事の概要〉

- ・事務局から上記議題について資料の説明が行われた。
- ・その後、意見交換及び質疑応答が行われた。

- （1）令和3年度第3四半期の各積立金の運用状況（地共済）
 - 地共連の運用では、基本的にレバレッジをかけていないが、個々のオルタナティブ投資において、海外不動産投資等におけるレバレッジの管理、レバレッジの現在の比率について確認したい。
- （2）令和3年度第3四半期の各積立金のリスク管理の状況（地共済）
 - 世界的な状況が変化をしているため、単純にベンチマークを構成しているからというだけで投資判断を行うのではなく、注意深く投資行動して欲しいという注意喚起を委託先に対して引き続きしていただきたい。

- (3) 厚生年金保険給付積立金の基本ポートフォリオの検証について
- (4) 経過的長期給付積立金の基本ポートフォリオの検証について
- 今回の検証方法の変更もリーズナブルであるが、条件や方法など色々なことを試してみて、結果として今の基本ポートフォリオが支持されるものであることを確認する過程が検証といえるのではないか。地共済の資産運用が将来に亘ってどういう経路をとっていくのかをよりきめ細やかに捉えるなどすれば、この検証にもう少し意味が出てくるのではないか。
 - マーケットポートフォリオの算出について、二つの時点を確認されているので大丈夫だと思うが、特定の一時点を使うとその一時点が大きな変動の影響を受けている可能性がある。
 - 今回に関しては特に異論はないが、賃金上昇率 2.4%を前提にしているということが、足元の状況からすると一般の人は非常に奇異に感じると思う。賃金上昇率を足元の数字に置き換えてもう一つシナリオを作る等、いくつか方法があると思うので、工夫をしていただければと思う。

以上